

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会 炬火トーチ・炬火受皿のデザイン

1 経緯

国体・大会の開・閉会式の式典や炬火を活用したイベント等で使用する「炬火トーチ」・「炬火受皿」のデザインについて、6～7月に本県居住者（居住経験者含む）を対象に一般公募を実施。

※公募結果

- | | | |
|---------|------------|----------------------------------|
| ・ 炬火トーチ | 436点（417人） | 〔 ※トーチ，受皿とも小・中・高校生
の応募が9割以上 〕 |
| ・ 炬火受皿 | 185点（175人） | |

○ 選定のコンセプト

- ① 両大会のシンボルとして、鹿児島美しく雄大な自然，文化や伝統など「鹿児島の魅力」をイメージさせるデザイン
- ② 炬火イベント等で多くの参加者が使用するため，子どもやお年寄りなど誰でも扱いやすいデザイン
- ③ 本県の国指定伝統的工芸品（川辺仏壇，薩摩焼，本場大島紬）の活用を優先的に検討
- ④ 当該デザインを基に，実際に製作できるかを検討

2 最優秀賞受賞者

(1) 炬火トーチ

- ・ 福永^{ふくなが} 沙夏^{さな} さん（鹿児島県立川内商工高等学校 インテリア科 1年）

(2) 炬火受皿

- ・ 加藤^{かとう} 太樹^{たいき} さん（鹿児島市立田上小学校 6年）

※ デザイン表彰式，試作品の公表（予定）（H31.3.26 於：県庁）

※ デザインは，次ページのとおり。

3 デザイン決定の経過等

- ・ デザイン募集方法の決定（H30.2.7 第7回式典専門委員会）
- ・ デザイン公募（H30.6～7月）応募作品数 621点
- ・ デザイン選定方法の決定（H30.6.26 第8回式典専門委員会）
- ・ デザイン選定委員会の開催（H30.8.29）
- ・ デザイン決定（H31.3.14 第10回式典専門委員会）

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会 炬火トーチ・炬火受皿デザイン

炬火トーチ



【コンセプト】

全体的に、鹿児島島の自然の美しさを表現。

鹿児島県の県鳥で国の天然記念物にも指定されている「ルリカケス」と県花である「ミヤマキリシマ」を組み合わせることで、鹿児島島の豊かな自然の魅力を発信。

また、持ち手・フレームの枝のデザインに加え、大空をイメージした雲を上部に配置することにより、風景のような美しさも楽しめるよう演出。

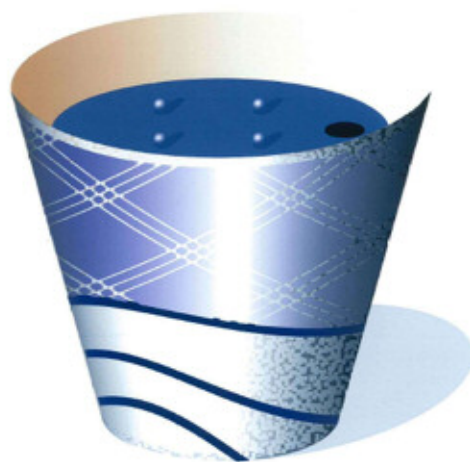
【製作】

本県の国指定伝統的工芸品である「川辺仏壇」の技術を活用。

【最優秀賞受賞者】

鹿児島県立
川内商工高等学校 インテリア科
1年 ふくなが さな 福永 沙夏 さん

炬火受皿



【コンセプト】

県のシンボルマークをイメージとして鹿児島島の豊かな自然や息吹を象徴する「風」と「波」をモチーフに青色で表現。

また、本県の伝統的工芸品である薩摩切子をイメージした模様が遠目からでもよく映えるよう、ダイナミックにデザイン。

【製作】

本県の国指定伝統的工芸品である「薩摩焼（白薩摩）」により製作。

【最優秀賞受賞者】

鹿児島市立
田上小学校 6年
かとう たいき 加藤 太樹 さん

【お願い】 炬火トーチ・炬火受皿のデザインについては、3月26日（火）に表彰式を行う予定のため、それまでの間、当資料は非公表として取り扱ってください。